

第 8 表 都 道 府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保管している土地台帳又は土地補充課税台帳に登録された土地のうち、課税対象外の土地（官、公有地、公共用地、公共用道路、悪用水路、ため池、保安林、学校用地及び神社・寺院などの境内地など）を除いた各年1月1日現在の数字である。

都 道 府 県	総 数	宅 地	田	畑	池 沼	山 林	牧 場	原 野	そ の 他
昭 和 47 年	15 746 201	892 189	3 095 964	2 556 613	22 670	7 437 488	181 058	1 413 251	146 969
48	15 897 420	941 499	3 084 363	2 599 795	24 337	7 468 893	180 278	1 422 675	517 581
49	15 923 132	992 747	3 067 990	2 587 200	24 137	7 464 880	181 548	1 403 216	201 414
50	15 940 625	1 030 174	3 052 656	2 582 547	24 377	7 476 550	181 284	1 375 349	217 688
昭 和 51 年	16 021 248	1 068 225	3 052 602	2 588 110	24 628	7 511 122	185 030	1 349 756	241 775
北 青 海 道	2 869 008	65 428	262 102	699 412	5 787	1 130 503	161 696	504 825	39 254
海 森 手 城 道 県	377 137	17 063	86 712	77 021	90	127 390	2 077	62 832	3 953
723 296	18 706	88 839	84 950	112	385 997	10 078	132 379	2 236	
313 560	23 034	108 032	41 537	138	130 918	147	7 600	2 154	
秋 山 福 茨 県 県 県	345 971	15 231	122 341	29 150	166	102 663	16	74 804	1 598
346 944	15 374	102 343	40 617	110	149 860	27	36 987	1 626	
585 242	23 987	113 556	95 754	1 142	293 640	1 708	49 936	5 519	
415 961	37 910	98 777	125 707	147	130 855	507	15 971	6 086	
栃 群 埼 千 木 馬 玉 葉 県 県 県	336 705	25 464	98 747	51 594	127	140 476	445	10 494	9 359
260 225	23 909	34 991	77 696	282	98 821	427	18 546	5 553	
240 676	43 592	57 879	73 515	305	55 964	-	3 815	5 606	
359 379	44 128	99 727	78 041	353	112 751	1 140	14 836	8 402	
東 神 奈 川 都 府 県	111 690	48 904	2 759	16 066	56	36 357	-	2 956	4 592
137 223	44 549	11 388	28 552	19	40 346	3	4 284	8 082	
487 777	29 610	176 089	47 450	1 633	208 697	19	18 455	5 823	
143 582	14 893	70 976	8 228	1 066	42 415	4	3 960	2 040	
石 福 山 長 川 井 梨 野 県 県 県	163 123	12 303	49 289	14 092	83	79 886	27	5 162	2 281
169 217	9 619	45 712	6 951	617	101 425	17	3 316	1 560	
128 010	9 226	16 972	30 773	30	60 560	-	9 458	991	
462 681	26 054	79 471	87 268	651	203 002	1 497	57 638	7 101	
岐 静 愛 三 阜 岡 知 重 県 県 県	474 257	22 422	59 848	25 651	1 132	341 540	1	14 393	9 271
431 970	36 337	44 948	67 301	2 202	247 715	39	26 111	7 318	
282 142	55 344	76 291	51 939	1 686	82 669	21	3 758	10 434	
293 190	19 665	62 687	27 686	601	172 269	14	4 732	5 536	
滋 京 賀 都 府 府	176 468	14 096	62 045	7 664	137	85 906	9	3 520	3 091
164 377	15 970	33 904	11 764	111	96 297	7	3 307	3 018	
大 阪 府	90 889	40 623	22 103	5 752	101	18 020	21	608	3 663
兵 庫 良 山 県 県 県	419 788	38 170	88 030	15 535	283	260 335	74	8 230	9 131
147 870	8 853	26 252	8 654	859	99 802	0	1 504	1 945	
242 047	7 976	23 623	17 683	68	190 296	1	1 276	1 125	
143 356	6 926	31 027	16 543	22	73 191	0	14 808	839	
島 根 山 島 口 県 県 県	332 069	8 787	49 492	20 189	285	244 862	59	6 634	1 763
360 305	22 438	79 963	30 884	279	214 756	111	6 415	5 458	
406 372	22 716	63 259	30 036	470	277 981	62	5 379	6 469	
304 770	18 563	62 714	19 615	259	190 435	41	7 807	5 336	
徳 香 愛 高 島 川 媛 知 県 県 県	189 392	8 218	26 488	20 199	264	131 560	12	562	2 090
114 188	11 072	34 421	14 106	59	51 750	-	311	2 469	
291 716	14 820	37 951	44 256	151	190 591	315	1 383	2 249	
328 538	6 442	31 293	20 132	922	264 498	49	3 211	1 992	
福 佐 長 熊 岡 賀 崎 本 県 県 県	287 901	41 968	90 711	30 097	642	96 447	81	18 169	9 787
143 986	8 725	50 148	21 239	69	47 903	62	14 558	1 282	
178 119	12 319	30 837	48 945	82	68 531	85	15 396	1 924	
287 684	19 239	77 959	67 078	356	93 940	1 222	25 747	2 143	
大 宮 鹿 沖 分 崎 島 県 県 県	224 394	13 446	52 781	33 697	209	89 113	-	31 816	3 331
228 859	13 546	44 706	48 270	192	95 988	189	23 510	2 458	
389 982	21 681	58 802	122 370	183	143 032	164	41 709	2 041	
109 209	8 878	3 617	46 453	90	9 166	2 558	26 649	11 797	

資 料 総 理 府 統 計 局 「日 本 統 計 年 鑑」

第 2 章
気 象

第 2 章 気 象

年 間 概 況

昭和52年の大阪の年間気象は、平均気温で16.7℃（平年より1.1℃高い）、同湿度63%（平年より8%低い）、降水量1,061.5mm（平年より328.4mm少い）であった。

季節的には、気温で1、2月が平年よりも低く冬型の気圧配置が続いたが3月以降は概して平年より高かった。又、湿度は年間を通して低湿であり、降水量においては夏場が特に少雨であった。

月 別 概 況

1月：上旬は極うずが分裂して中緯度まで南下し、日本付近では気圧の谷が日本の東側に存在するいわゆる東谷の状態が続いた。地上では顕著な冬型気圧配置が持続し日本海側では大雪となった。その後冬型がゆるみ、上旬末から中旬のはじめにかけては気温も上って平年より3～4度高く太平洋側では空気の乾燥状態が続いた。下旬は再び冬型となり日本海側は低温で小雪状態が続いた。

2月：1月に続いて日本付近はカムチャッカ付近が強い低圧部となり東谷が続いた。このため強い冬型気圧配置は2月に入っても衰えず記録的な低温と大雪となり、38年豪雪以来の寒波となった。下旬に入り移動性高気圧におおわれるようになり暖かくなってきた。

3月：アリューシャン低圧部は急速に衰え、北太平洋高気圧が著しく発達したが、シベリア高気圧も発達し強い冬型気圧配置が持続し、日本海側を中心に大雪や異常低温となった。9日には沿海州を非常に発達した低気圧（春一番）が通ったが大きな影響はなかった。中旬以降は大陸高気圧が移動性となり気温も上ってきたが前線が西日本の南岸に停滞しやすくなり天気はぐづつき菜種梅雨となった。台風第1号は28日発生したが、30日には消滅した。

4月：日本付近は北日本を中心として本邦付近に気圧の谷があり、西日本は東西流からやや西南西流の入りやすい場であり、月初め好天が続いたが中旬以降は日本海を発達した低気圧が通り曇雨天の日が多かった。しかし、月末には移動性高気圧におおわれ好天となったが、明方冷え込み近畿北部で晩霜の発生した所もあった。

5月：月はじめ前線が南岸沿いに停滞していたため、曇雨天の日が続き、その後移動性高気圧におおわれ気温も上がった。中旬の中頃、沿海州からレナ川上流にかけ尾根が発達し、一方日本の東海上で気圧の谷が深まったため寒気が南下し、朝晩はかなり冷え込んだ。

6月：極東では環流の変動が大きかったため、高温と低

温、好天と悪天が繰返された。上旬のはじめ西日本は高気圧におおわれ、晴れの日が多く気温も連日上昇し5日の最高気温は平年より6.4度も高い32.4度を記録した。その後南海上の前線は活発となり7日梅雨入りとなった。中旬から下旬にかけて曇雨天の日が多く、日本海沿岸や瀬戸内の沿岸海上でしばしば霜が発生した。

7月：梅雨前線の活動が弱かったため、雨量は少なく気温は高目に経過し、11日には早くも熱帯夜となり、13日には真夏日となった。その後山陰沿岸ぞいにあった梅雨前線が徐々に南下し、前線周辺で雷雨が発生したが、太平洋高気圧が次第に強まり、西日本をおおった20日近畿地方では梅雨明けとなった。下旬以降は夏型の天気となり、月末まで真夏日が続いた。

8月：夏型の晴天が続き真夏日が7日まで続いたが、高緯度で2波数が卓越、極東では寒気の南下が目立ってきた。このため8日隠岐地方に大雨、中旬以降近畿地方は比較的曇が多く西日本は低温傾向となった。雨量は京阪神で少く、大阪における降水量の平年比は41%、びわ湖の水位は危険水位まで低下した。

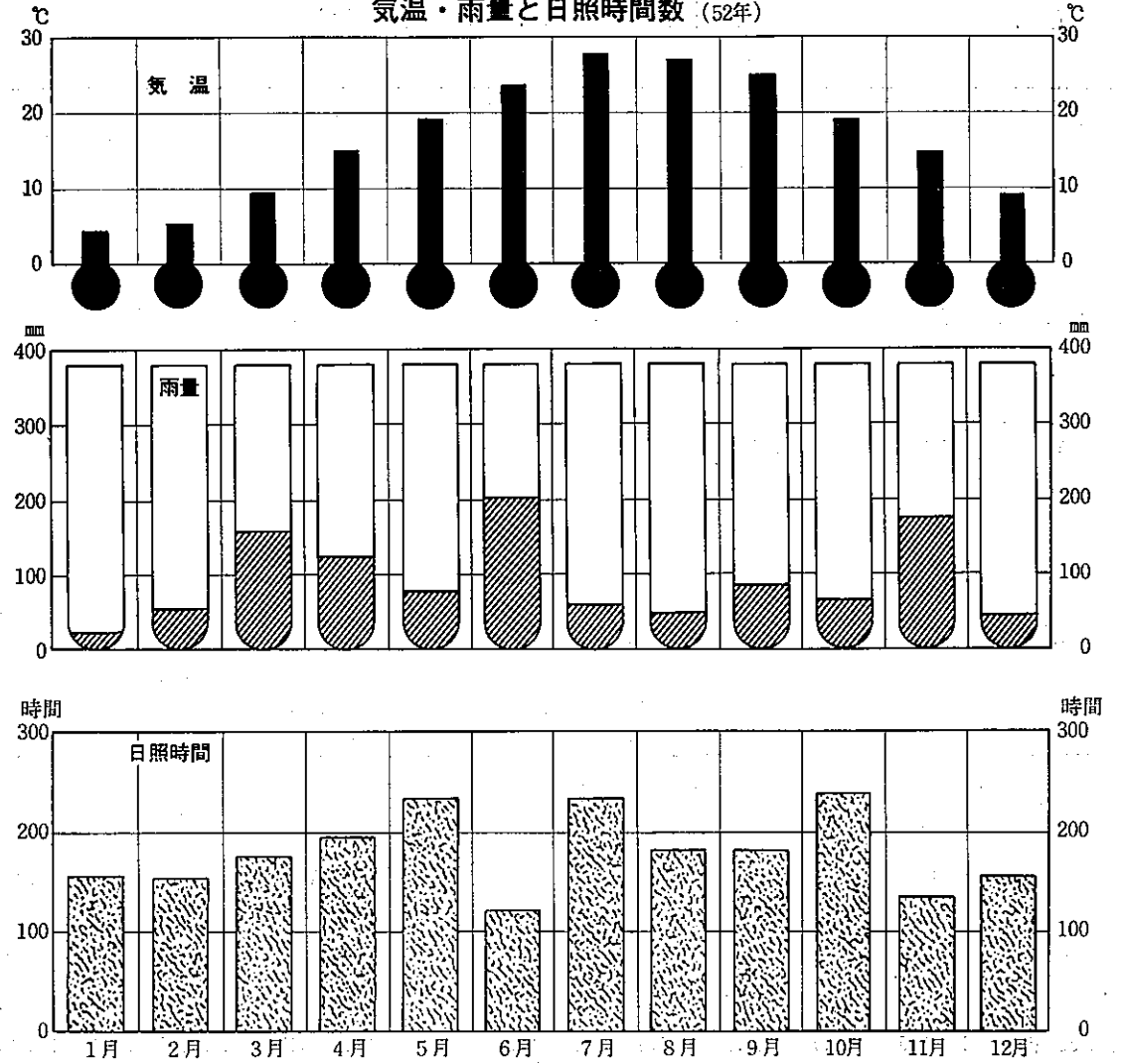
9月：月はじめ太平洋高気圧が西日本をおおい残暑がきびしかった。また近畿各地に雷が頻発した。台風9号（沖永良部台風）の影響により10日紀伊半島の南東斜面に200～250ミリ、日出岳に565ミリの豪雨があったが、中旬末までさわやかな秋晴れが続いた。下旬ははじめから月末まで北高型となり曇雨天の日が多かった。

10月：上旬は周期的な天気変化だったが、その後西日本は月末まで帯状の高気圧におおわれ、大阪では9日から30日までの22日間晴天が続き記録的な高温となった。月平均気温は平年より2.1度も高い19.7度、日照時間も235.5時度と開設以来第1位となった。台風は14号から18号まで発生したが、日本の東方海上を通りほとんど影響なかった。

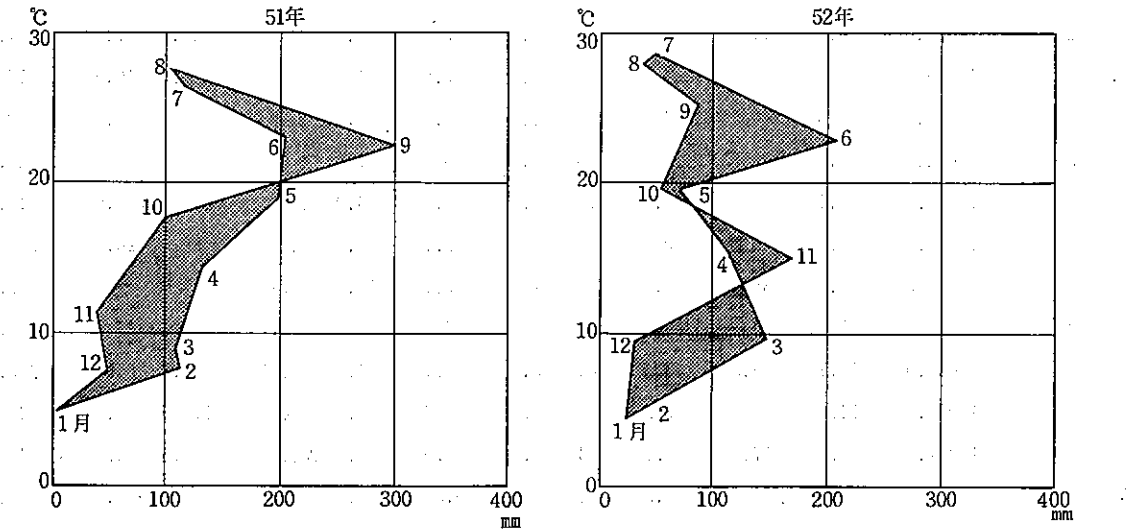
11月：全般に周期的な天気変化をしたが、寒気は中国大陸方面に南下傾向が続いたため暖かい日が多く、大阪における上旬の平均気温は平年より3.9度も高い17.8度で上旬として開設以来第1位だった。この暖かさは中旬頃まで続き、下旬に入りようやく寒波が到来し各地に初霜を観測した。

12月：高気圧が移動性となり低気圧が日本海を通ることが多かったため、秋からの高温傾向が続いた。月はじめ一時冬型となったが寒気は西日本まで南下せず暖かい日が続いた。本格的寒波が21日に到来し、近畿北部に初雪を観測したが長続きせず月末には気温はかなり高かった。

気温・雨量と日照時間数 (52年)



気温と雨量の関係 (大阪)



第 1 表 大 阪 管 区 気 象 台

本表は「地上気象観測原簿」によるものである。

Table with 5 columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Includes data for 大阪市東区法円坂町6-25.

資料 大阪管区気象台調査課調

第 2 表 気 象 概 況

本表は大阪管区気象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。雲量は全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準、平均風速は0時~24時の全風程から求められている。...

Table with 13 columns: 年 月, 平均気圧, 気 温 (平均, 最高, 最低), 平均湿度, 雲量, 風 速 (平均, 瞬間最大, 風向), 降水量 (総量, 最大時量), 日照時間, 有感地震. Includes monthly and annual data from 1948 to 1952.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 3 表 天 気 の 概 況

本表は大阪管区気象台での観測結果による日数である。

Table with 13 columns: 区分, 昭和49年総数, 昭和50年総数, 昭和51年総数, 昭和52年 (1-12月), 総数. Includes categories like 降水量, 降雪日数, 暴風日数.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 4 表 地 域 気 象 観 測 所 の 平 均 気 温

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with 13 columns: 観測所, 昭和49年平均, 昭和50年平均, 昭和51年平均, 昭和52年 (1-12月), 平均. Includes locations like 能勢, 枚方, 豊中, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 5 表 地 域 気 象 観 測 所 の 降 水 量

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた合計値である。

Table with 13 columns: 観測所, 昭和49年総数, 昭和50年総数, 昭和51年総数, 昭和52年 (1-12月), 総数. Includes locations like 能勢, 箕面, 枚方, etc.

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第 6 表 全国气象官署別气象概况 (昭和51年)

本表の「相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測値を、「気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい、「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。「年平均値」は昭和16~45年の平均値である。a)は昭和31~45年平均。b)は昭和23~45年平均値。c)は昭和29~45年平均。d)は昭和18~45年平均。e)は昭和25~45年平均。f)は昭和17~45年平均。g)は昭和26~45年平均。h)は昭和16年~42年平均。

Table with columns: 气象官署, 气温 (年最高, 年最低, 年平均), 相対湿度 (年最高, 年最低, 年平均), 日照時間 (年最高, 年最低, 年平均), 降水量 (年最高, 年最低, 年平均), 快晴日数, 最大風速, 最深積雪. Rows list various meteorological stations across Japan.

第 3 章 人 口